

事業所名 にじいろ（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2026 年

2 月

12 日

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|-----|---------|--|--|----|----|--|
| 法人（事業所）理念 | 平成21年に設立し、「生きる力を育てよう」「ひとりひとりが生活を楽しみながら共に育ち合うこと」を理念としています。「生きる力」とは・・人との関わりの中で尊重され、認められ、「自分は愛されている」と実感もてること。その安心感の中で自分で表し、選び、行動していく力が育っていきます。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | にじいろは地域の小学生、特別支援学校の中高校生、フリースクールに通う小中学生が通っています。また事業所の近隣のフリースクールと連携しています。医療福祉連携を訪問看護ステーションと連携して実施しています。放課後は公園や児童館などへでかけたり室内での制作など子どもたちのやりたいを大切にしたいのびのび安心して過ごします。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | 9 時 | 00 | 分から | 18 時 | 00 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 生活リズムの調整、健康のための環境の配慮を行います。 ・衣服の着脱、季節に合わせた衣服の調整、食事動作の支援、食具の使用の支援、身だしなみや整容の支援、排泄に関する支援 ・医療福祉連携を行い、身体面や精神面でのケアや助言を行います。 | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | あそびを通して体幹機能を高め、身体の使い方や調整の仕方を学んでいきます。 ・粗大運動：大型遊具やブランコ、室内遊具、散歩など ・微細運動：アイロンビーズや編み物、工作など ・感覚あそび：スライム作り、アイロンビーズ、ネイル（中高校生）など | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 宿題・生活課題・あそびを通じ、「自分でできること」を増やす体験を積み重ねます。また将来の自立に向け経験を増やします。 ・タイムタイマーの活用、遊びの内容や時間などを自分で決定する、失敗の中から学ぶ経験をする、振り返りを一緒に行う | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 言葉や表情、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを活用し、自分の気持ちや要求を伝える力と相手の思いを受け取る力を育てます。 ・指さし、身振り、サインの活用 ・自分または相手の気持ちを支援者が代弁する | | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 集団遊びやチーム活動を通じ、協力や順番、役割、ルール理解を経験する。また中高校生はさらに複雑な社会的ルールや対人関係を理解し、地域や社会の中で安心して過ごす力を育てます。 ・おにごっこなどの集団あそび ・ルールの背景理解 ・衝動のコントロール ・公共施設の利用の経験 | | | | | | | |
| 家族支援 | 定期的な懇談会にて療育相談を実施 保護者交流会や情報交換会、学習会 就労に向けての見学会の実施、相談援助 | 移行支援 | | | 学校や学童にスムーズに移行するための移行支援 ライフステージに応じ就労支援先などの移行支援 | | | | |
| 地域支援・地域連携 | 各関係機関（医療・教育・子育て・保健・福祉）との連携を行い、子どもたちがより広く支援を受けられるような支援 小牧市自立支援協議会への参加（地域の課題解決、他機関との連携） 障害児等療育支援事業への参加（関係機関との協同事業への参加など） | | | 職員の質の向上 | | 研修計画の実施 法人理念研修/制度理解/直接支援技術・基礎知識（障害特性理解・子どもの発達・感覚統合）/虐待防止研修・身体拘束の適正化研修/救命講習/食中毒・感染予防研修訓練/てんかんアレルギー研修/車両運行研修/ | | | |
| 主な行事等 | 2025年実績 節分、七夕会、しっがまつり、クリスマス会、観劇会 誕生日会、遠足、社会見学（電気の科学館、尾張旭防災センター、エコパルなごや、トランポリン、138タワー） | | | | | | | | |